

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (研究コース) 修士課程】
試験科目 【 専門選択試験 理論経済学 (マルクス経済学) 】

【出題意図】

『資本論』における価値形態論に関する基本的な知識、理解を有しているかを問う。

「価値形態論」について説明しなさい。

【解答に求められる要素・評価のポイント】

1) 価値形態とは、商品の価値が現象する形態あるいは商品が自己の価値を表現する形態のことであり、価値形態論においては、価値が純粋に社会的な属性であるがゆえにその価値表現が問題となっているということを説明できていること。

2) 4つの価値形態の展開（①単純な、個別的な、または偶然的な価値形態、②全体的な、または展開された価値形態、③一般的価値形態、④貨幣形態）を、順を追って論理的に説明できていること。またその説明の中で「相対的価値形態」、「等価形態」、「等価物」、「価値体」、「一般的等価物」などの用語が適切に説明できていること。

2026 年度 駒澤大学大学院 9 月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (研究コース) 修士課程 】
試験科目 【 専門選択試験 理論経済学 (近代経済学) 】

【出題意図】

純粋交換経済における一般均衡に関する基本的な理解を問う。

2つの財（第1財，第2財）と2人の消費者（ A, B ）からなる純粋交換経済を考える。消費者 A, B の選好を表現する効用関数をそれぞれ

$$\begin{aligned}u^A(x_1^A, x_2^A) &= (x_1^A)^2 x_2^A \\ u^B(x_1^B, x_2^B) &= x_1^B (x_2^B)^3\end{aligned}$$

とする。消費者 A, B の初期保有 w^A, w^B は

$$\begin{aligned}w^A &= (w_1^A, w_2^A) = (2, 2) \\ w^B &= (w_1^B, w_2^B) = (4, 2)\end{aligned}$$

であるとする。

(1) ワルラス均衡における価格比と資源配分を求めよ。

(2) エッジワースボックスを描き，パレート集合，初期保有配分，ワルラス均衡配分，両者にとって個人合理的な配分，コア配分の集合を図示せよ。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

【解答例】

(1) ワルラス均衡を求めるために、まず消費者 A と B の効用最大化問題を解く。A が解く効用最大化問題は

$$\max_{(x_1^A, x_2^A)} (x_1^A)^2 x_2^A \quad \text{subject to} \quad p_1 x_1^A + p_2 x_2^A = p_1 w_1^A + p_2 w_2^A$$

と定式化できる。以下、式を見やすくするために A の所得（初期保有財を金銭換算した額）を $I_A = p_1 w_1^A + p_2 w_2^A$ と置く。ラグランジュ関数を

$$\mathcal{L}_A = (x_1^A)^2 x_2^A + \lambda_A (I_A - p_1 x_1^A - p_2 x_2^A)$$

とする。一階条件より

$$\begin{aligned} \frac{\partial \mathcal{L}_A}{\partial x_1^A} &= 2x_1^A x_2^A - \lambda_A p_1 = 0, \\ \frac{\partial \mathcal{L}_A}{\partial x_2^A} &= (x_1^A)^2 - \lambda_A p_2 = 0, \\ \frac{\partial \mathcal{L}_A}{\partial \lambda_A} &= I_A - p_1 x_1^A - p_2 x_2^A = 0. \end{aligned}$$

これを整理することで A の最適消費計画は

$$x^A = (x_1^A, x_2^A) = \left(\frac{2I_A}{3p_1}, \frac{I_A}{3p_2} \right)$$

と計算できる。B も同様に

$$\max_{(x_1^B, x_2^B)} x_1^B (x_2^B)^3 \quad \text{subject to} \quad p_1 x_1^B + p_2 x_2^B = p_1 w_1^B + p_2 w_2^B$$

という最大化問題を解けば、B の最適消費計画は

$$x^B = (x_1^B, x_2^B) = \left(\frac{I_B}{4p_1}, \frac{3I_B}{4p_2} \right)$$

と求められる。ただし $I_B = p_1 w_1^B + p_2 w_2^B$ である。

次に、均衡では、各消費者が欲しいと思う各財の量の合計が、ちょうど彼らが初期に保有していた各財の量の合計と一致することから、

$$x_1^A + x_1^B = w_1^A + w_1^B \tag{1}$$

$$x_2^A + x_2^B = w_2^A + w_2^B \tag{2}$$

が成り立つ。ワルラス法則より、式(1)と(2)のうちどちらか一方だけを使えば十分だから、式(1)より

$$\begin{aligned} \frac{2(p_1 \cdot 2 + p_2 \cdot 2)}{3p_1} + \frac{p_1 \cdot 4 + p_2 \cdot 2}{4p_1} &= 2 + 4 \\ \frac{4p_1 + 4p_2}{3p_1} + \frac{4p_1 + 2p_2}{4p_1} &= 6 \\ 16p_1 + 16p_2 + 12p_1 + 6p_2 &= 72p_1 \\ p_2 &= 2p_1 \end{aligned}$$

が得られる。

つまりワルラス均衡価格の比は

$$\frac{p_1^*}{p_2^*} = \frac{1}{2}$$

である。これを各消費者の最適消費計画に代入すれば、ワルラス均衡配分

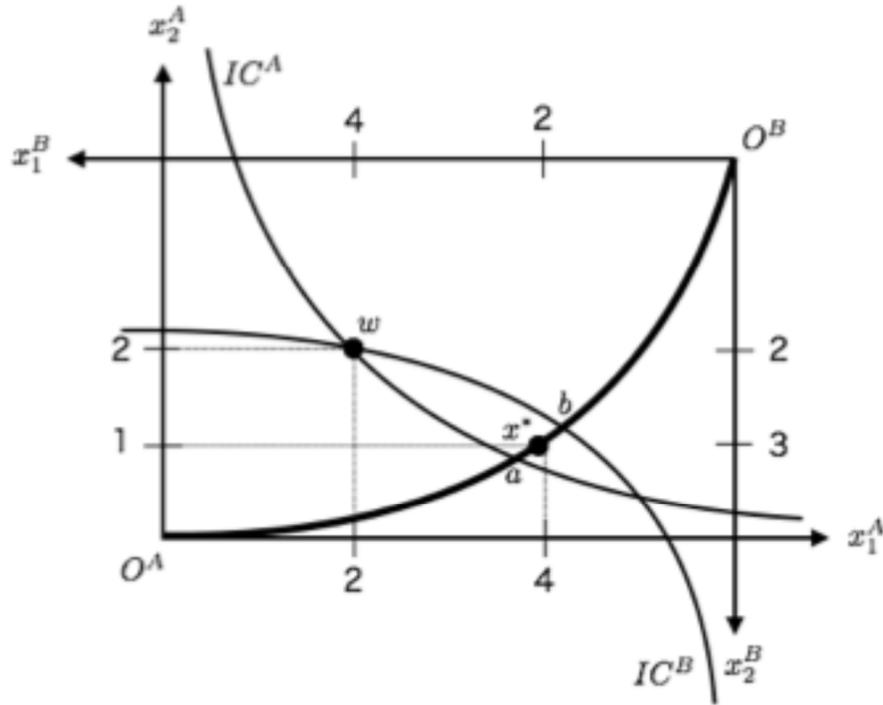
$$(x^{A*}, x^{B*}) = ((x_1^{A*}, x_2^{A*}), (x_1^{B*}, x_2^{B*})) = ((4, 1), (2, 3))$$

が得られる。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

(2) 以下にエッジワースボックスを示した。

太線 $O^A O^B$ がパレート集合である。点 w が初期保有配分で x^* がワルラス均衡配分である。初期保有配分 w を通る A さんの無差別曲線 IC^A と B さんの無差別曲線 IC^B によって囲まれたレンズ型の集合が、両者にとって個人合理的な配分の集合である。また、太線 ab がコア配分の集合である。



2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (研究コース) 修士課程】
試験科目 【 専門選択試験 経済史 】

【出題意図】

近現代の世界経済に関する基礎的な理解および論理的思考力を評価する。

問題1. 1929年10月のニューヨーク株式市場における株価暴落から始まった世界恐慌と、それに対して各国がとった経済政策について説明しなさい。

【評価のポイント】

アメリカで始まった恐慌が世界に波及する過程と、それに対して各国がとった経済政策に関して、歴史的事実に基づき説明することが求められる。

問題2. E・ウォーラステインの近代世界システム論の要点を説明したうえで、自分の考えを述べなさい。

【評価のポイント】

中核、周辺、ヘゲモニーなどのキーワードを用いて近代世界システム論を具体的に説明すると同時に、世界システム論に対する近年の批判的論考を踏まえて自分の考えを論理的に記述することが求められる。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (研究コース) 修士課程】
試験科目 【 専門選択試験 経済政策 】

【出題意図】

経済の因果関係と政策の効果を筋道立てて論じる能力を評価する。

2012年以降、とくに2021年から現在にかけて、大幅な円安が進行している。この円安の背景と影響について、以下の点を論じなさい。

(1) なぜ円安が進行したのか？

(2) 円安であることのメリットとデメリットは何か？

(3) 現在の円安に対し、日本政府や日本銀行はどのような経済政策を講じるべきか？(政策が不要と考える場合は、その理由を説明すること)

【解答のポイント (評価基準)】

(1) 「異次元緩和を維持し続けたことによる日米の金利差の拡大」や「エネルギー資源の輸入量増大やエネルギー資源価格上昇による貿易サービス収支の悪化」「円の安全資産としての地位低下」など諸説あるので、そのうちの一つ以上書けていること。因果関係がきちんと説明されていることが望まれる。なお、「確定した学説はない」という答えでも良い。

(2) メリットとしては「輸出企業の利益増大」「インバウンドの増大」「外貨建資産の評価額が円ベースで上昇」などがあり、デメリットとしては「輸入品価格の上昇」「海外旅行の価格上昇」「内需型の中小企業への圧迫」などがある。それぞれ、一つ以上書けていること。

(3) 「日銀による段階的な利上げ」「物価高で生活難に陥った人達に対する政府による支援」「行き過ぎた円安に対する為替介入」「再生可能エネルギーの普及や原発の再稼働によるエネルギー自給率の引き上げ」などが考えられるので、これらのうちの一つ以上書けていること。政策の波及メカニズムについて、きちんと説明されていることが望まれる。「円安のメリットはデメリットを上回るので、円安対策をする必要はない」「市場原理に任せるべきなので、円安対策をするべきではない」等の答えでも良い。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (研究コース) 修士課程】
試験科目 【 専門選択試験 国際経済論 】

【出題意図】

国際経済に関する主要な 이슈を題材として、①現状および課題に関する理解度、②具体的な事例に基づく考察・分析力、③理論的枠組みに対する思考力および応用力を総合的に問い、評価する。

【問題】 WTO (世界貿易機関) の役割と機能を説明した上で、二国間の自由貿易協定や多国間の経済連携協定をめぐる近年の動向について、RCEP (地域的な包括的経済連携) 協定や CPTPP (環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)、USMCA (米国・メキシコ・カナダ協定) などの具体例を交えて論じなさい。さらに、こうした国際経済秩序の様相を通して議論される自由貿易や保護主義のあり方について、あなたの考えを述べなさい。

【解答に求められる要素・評価のポイント】

- ・ WTO の基本原則や協定内容、意思決定のあり方について適切に説明されていること。また、機能不全ともいわれる交渉停滞の状況を的確に捉えられていること。
- ・ 二国間の自由貿易協定や多国間の経済連携協定などを WTO との関係性 (制度間の補完性および競合性) において述べられていること。事例として取り上げた二国間の自由貿易協定や多国間の地域経済連携協定の意義と特徴、課題が具体的に示されていること。
- ・ 以上の様相を自由貿易や保護主義に関する議論のなかに位置づけられていること。このような実態の文脈から明らかにされる自由貿易や保護主義の方向性 (展望) を論じられていること。

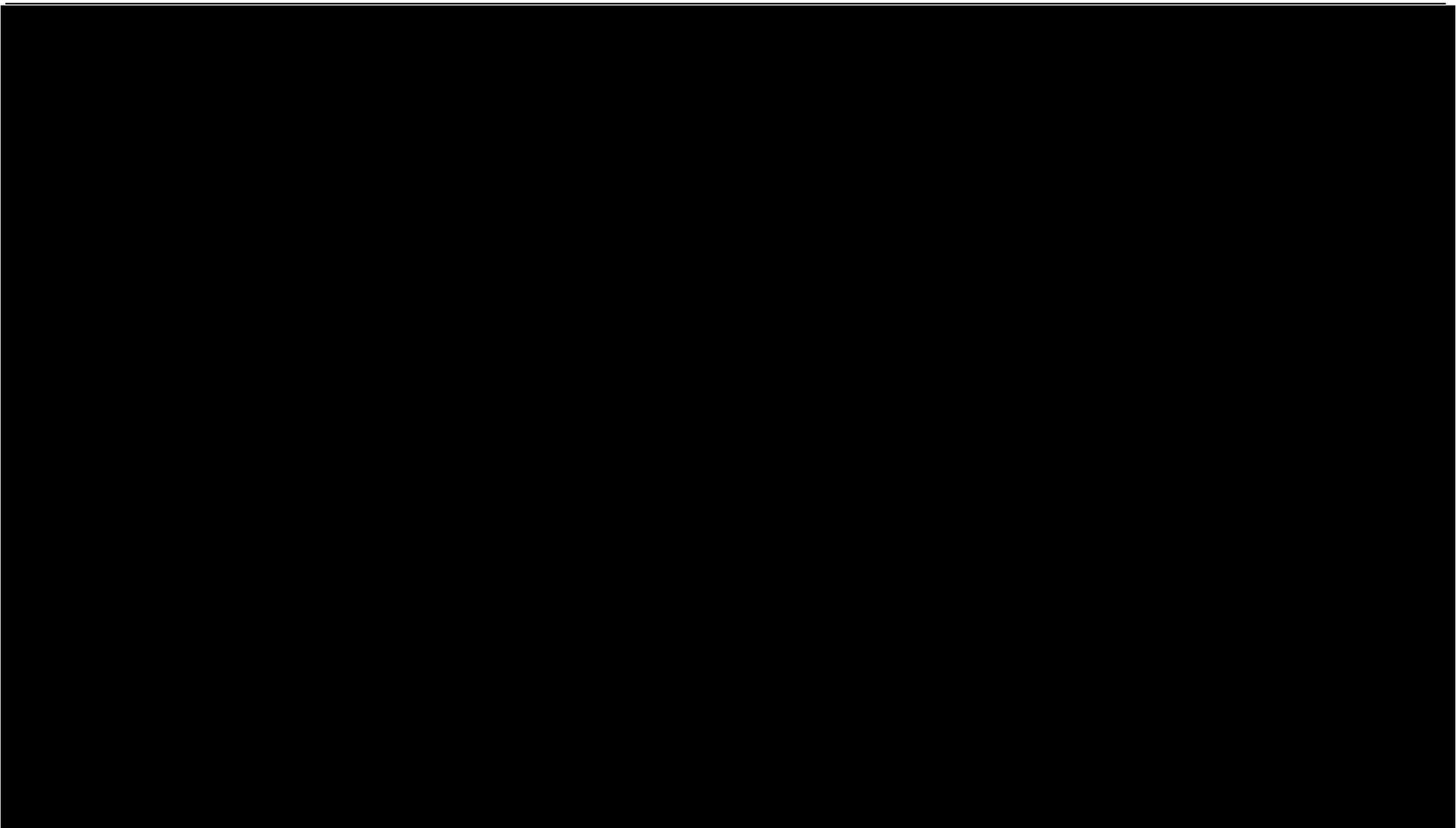
2026 年度 駒澤大学大学院 9 月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻（研究コース） 修士課程】
試験科目 【 外国語試験 英語 】

【出題意図】

経済学，とりわけ国際経済分野に関わる英文の正確な読解力と、文脈に即した日本語表現力を問う。

【問】以下の英文をすべて日本語に訳しなさい。



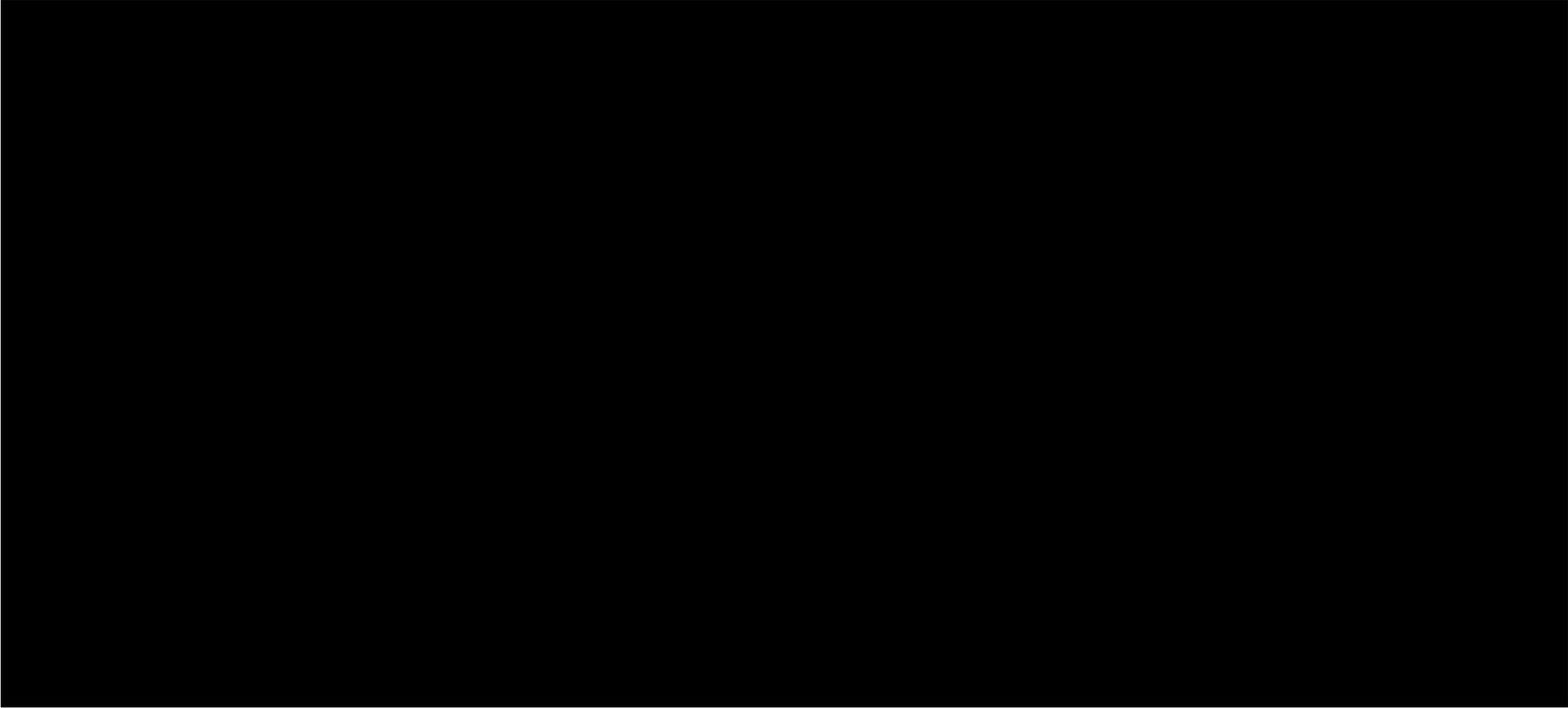
*weaponization：武器化、*Elmau：エルマウ（ドイツの地名）、*Economic Coercion：経済的威圧

出典 外務省 "G7 Hiroshima Leaders' Communiqué", May 20, 2023（出題にあたり一部を抜粋した）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/hiroshima23/documents/>（2025年7月11日アクセス）

2026 年度 駒澤大学大学院 9 月 入学試験問題及び解答例

【解答例】



2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻 (税制・財務コース) 修士課程】
試験科目 【 専門試験 租税法 】

【出題意図】

租税法に関する基礎的な知識の理解度及び論理的思考力を評価する。

【問題】

次の5問のうち、1～2のいずれか1問、3～5のいずれか1問、合計2問を選び答えなさい。

- 1 租税回避スキームを用いて通常負担すべき税額を免れた納税者に対し、課税庁が租税回避であることを理由に通常負担すべき税額との差額分を増額する更正処分を行ったとする。租税回避の意義を明らかにしつつ、この処分の適否について自身の見解を述べよ。
- 2 課税庁からある経済取引により得られる所得は非課税である旨の事前照会に対する回答を得たため、非課税を前提とする条件設定の下でその取引を実行した納税者に対し、後になって、その課税庁がその回答内容に誤りがあったとして所得金額を増額する更正処分を行ったとする。回答内容の誤りは事実であることを前提に、この更正処分を適法とした場合、違法とした場合に生ずる問題点をそれぞれ明らかにした上で、この処分の適否について自身の見解を述べよ。
- 3 所得税法の下では、違法又は無効な行為によって生じた経済的利益（例えば、利息制限法に定める制限利率を超過して受け取った利息）であっても、課税対象である所得に含まれるものとされている。これはどのような考え方を基礎とするものであるか説明せよ。
- 4 法人税法では、役員給与のうち所定の例外として定められる給与に該当しないものの額は損金の額に算入せず、さらに、この例外とされる役員給与であっても不相当に高額な部分の金額は損金の額に算入しないこととされている。企業会計における役員給与の取扱いとの相違点を明らかにしつつ、このような損金算入制限が設けられている理由を説明せよ。
- 5 消費税法では、消費税額の計算に当たって、課税標準額に対する消費税額をそのまま最終的な税額とせず、そこから課税仕入れに係る消費税額を控除するものとしている。このような仕入税額控除の制度が設けられている理由を説明せよ。

(以上)

【解答に求められる要素・評価のポイント】

※ かぎ括弧内の文言は、評価のポイントとなるキーワードの例である。

- 1 「租税法律主義」の内容及び「租税回避」の意義を正しく理解していることを前提に、「租税法律主義（課税要件法定主義、課税要件明確主義）」と「租税回避の否認」の関係、特に否認規定がない場合にも否認が認められると考えるか否かについて、論理的に説明されていることを求めた。
- 2 租税法規に適合する課税処分につき、課税庁の示した見解に対する納税者の信頼を保護するために、法の一般原理である「信義則の法理」の適用が認められるべきか否かについて、「租税法律主義」、「合法性の原則」、「租税公平主義」との関係を押まえて、論理的に説明されていることを求めた。
- 3 私法等において違法又は無効とされる「経済的利得」も「所得」と捉えるべきか否かについて、「包括的所得概念」の下で、事実としての「純資産の増加」により「担税力」が生じていることが課税の根拠となる旨が、的確に説明されていることを求めた。
- 4 法人税法は、「企業会計」に依拠して法人所得を計算することを原則としつつ、「適正な課税」という法人税法の目的から「企業会計」とは異なる計算をすべき場合には「別段の定め」を設けている旨、及び、「企業会計」では一般的に役員報酬や役員賞与を「費用」と捉えるのに対し、法人税法では所得操作に関する「恣意性」が排除される場合に限り損金算入を認めている旨が、的確に説明されていることを求めた。
- 5 多段階消費税において各取引段階の売上額を課税標準として税を課すと、取引段階が進むごとに「税（負担）の累積」が生じて競争の中立性を歪める等の弊害が生じるため、付加価値税の一種である消費税においては、各取引段階の「付加価値」が実質的な課税標準となるよう、前段階の税額を控除する仕入税額控除の仕組みが設けられている旨が、的確に説明されていることを求めた。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 経済学研究科 経済学専攻（研究コース） 修士課程】
試験科目 【 小論文（外国人留学生） 】

【出題意図】

- ①外国人留学生が、国際情勢への関心と、経済学の基本的な知識を持っているかを評価する。
- ②日本語の文章表現力の程度を問う。

トランプ大統領の関税政策は、各国経済や世界経済に少なからぬ影響をもたらしているが、その背景の1つにアメリカの貿易赤字があるとされる。以下の問題1、2について具体的に論述しなさい。

問題1 なぜアメリカは膨大な貿易赤字を許容できなくなってきたのか。米国ドルが基軸通貨であることを踏まえながら論述しなさい。

【解答例】

トランプ大統領の関税措置の背景にある基本的な問題意識が、どこにあるのかを問うた問題である。米国ドルが世界の準備資産として需要されることがドルの過大評価につながって、米国の輸出競争力の低下を導いていることが論理的に示せるかが解答のポイントになる。「トリフィンのジレンマ」など関連する鍵概念の説明が出来れば高得点が期待できる。

問題2 東アジア・東南アジア諸国が1980年代後半以降、経済成長を果たした理由を、「輸出主導型経済」「サプライチェーン」「米国市場」の用語を使いながら説明しなさい。

【解答例】

発展途上国が新興国経済へと飛躍的な経済成長を遂げた開発モデルを問うた問題である。外国資本、多国籍企業、経済特別区、低付加価値部門、低賃金労働、貿易黒字、外貨準備（米国ドル）等の基本的な経済用語と組み合わせた説明が出来ることが解答のポイントになる。